

特別なクリスマスに贈る、至福の3大アヴェ・マリア ハンガリーから、心あたたまる“冬の名曲集”

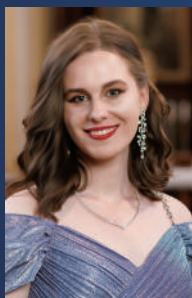
息の合った豊かな弦楽器の音色と、清らかなソプラノの歌声。冬の清廉な空気に響く、厳かな室内楽は、穏やかに心を満たしていく。毎年この公演を見なければクリスマスを迎えられないという多くのファンの期待に応え、「クリスマス/アヴェ・マリア」は2000年の開催以来、今回で26回目の公演となる。音楽の美しさを改めて感じさせるバロック時代の名曲から、色彩豊かなロマン派まで、冬にぴったりの名曲をお届けするのは、ハンガリーからエリザベト弦楽アンサンブル。基本編成は弦楽合奏(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)、曲目により、それらにソプラノやハープが加わり、ハーモニーが幻想的な色彩を放つ。ソプラノによって歌われるJ.S.バッハ、シューベルト、カッチーニによる「アヴェ・マリア」では、弦楽器と調和し、豊かに響き渡る歌声に心を揺さぶられる。長きにわたり愛されてきたこれらの作品に演奏家たちが息を吹き込み、優しさに包まれるような至福の「アヴェ・マリア」を堪能できるだろう。名曲の数々を質の高い演奏で聴かせてくれる、特別なクリスマス・コンサート。心あたたまるひと時をお過ごしください。



エリザベト

1837年12月24日クリスマス・イヴに生まれ、
今なお愛される
オーストリア=ハンガリー帝国の皇后。

アンナ・ヴォレント(ソプラノ)



セーチェーニ・イシュトヴァーン大学で声楽を学ぶ。レヴィツェ音楽祭で最優秀を受賞。ハンガリーの聖イグナチオ・デ・ロヨラ・ベネディクト教会、スロヴァキアのレヴィツェ礼拝堂、ルーマニアの巡礼地シュムレウ・チウクでの典礼聖歌、エステルハージ宮殿(フェルテード)、ゲデレー宮殿等の公演に出演。透明感があり、柔軟性の高い歌唱が評価を得ている。

ハンナ・タカーチ(ソプラノ)



レオー・ヴァイネル音楽院、セーチェーニ・イシュトヴァーン大学、リスト音楽院で声楽を学ぶ。グリーグ「ペールギュント」の「ソルヴェイグの歌」のソリストとして、ジュール国立劇場やブダペスト芸術宮殿に出演。今年11月にはハンガリーの国民的オペラ、ポングラーツ・カチョー作曲「勇者ヤーノシュ」への出演を予定している。

エリザベト弦楽アンサンブル



楽団の名は、ハンガリーで今なお愛される、自由と美の象徴、エリザベト王妃に由来している。2009年に「ウィーン・アーティスト・オブ・ザ・イヤー」を受賞したシャンドル・ヤヴォルカイ(ヴァイオリン)とアダム・ヤヴォルカイ(チェロ)により、ハンガリーの才能ある若手音楽家を集めて結成された弦楽合奏団。端正で躍動を感じさせる演奏が好評を博している。

【ご注意とお願い】 ※チケットをご購入の際は、あらかじめ下記のことをご了承くださいませようお願い申し上げます。

■記載されている情報は2026年6月現在の予定です。諸般の事情により出演者、公演内容は変更になる場合がございますが、公演中止など、主催者がやむを得ないと判断する場合以外のチケットの払い戻しはいたしません。最新の情報については光藍社ホームページ(<https://www.koransha.com/>)にて発表しますので、チケットご購入後は、随時ご確認いただきますようお願いいたします。■未就学児のご入場はご遠慮ください。■チケットご購入後の変更・キャンセルはできませんので、予めご了承ください。■主催者の同意なくチケットを有償で譲渡することは禁止します。■会場内における飲食、喫煙はご遠慮ください。■写真撮影、録音等は一切禁止させていただきます。■開演後のご入場は制限させていただきます場合がございます。■公演中は、他のお客様のご観覧の妨げになる行為(話し声、過度なブラボーなどのお声掛け)はお控えください。■注意事項をお守りいただけない場合、主催者側の判断でご入場のお断り、または途中退場をお願いする場合がございます。